



体験入学の準備はできていますか？ 準備万端！有意義な機会としましょう！

今年の夏休みは様々な点で特別です。中でも**高校の体験入学は全受験生にとって重要なもの**となります。他校の生徒に負けられないように、準備を万全に、正しい身だしなみで参加しましょう。一人の無責任な行動が「津幡南中はだらしがない。」という噂を広げることにつながります。各々が責任を持って行動することで、**皆さんの持っているすばらしさが相手校にも伝わる**はずで
す。その上で、有意義な機会としてください。



① 高校は皆さん自身が3年間通うところですよ。どんなところか知らずに行ってはいけません。

- 家からどのくらい離れていて、毎日どうやって通学するのかを確認しましょう。
- 高校の説明を自分自身で聴くことで、誰に聴くより確かな判断ができるはずですよ。
- 自分のしたいこと（部活動・学習・制服・各施設）が、その学校にはあるでしょうか？
- 自分の将来の進路希望が実現できる学校でしょうか？

② 体験入学の注意事項は、各高校別の打ち合わせ会での内容を確実に実行しましょう。その上で、以下のことをしっかりと守ってください。

- 身だしなみは、最低限のエチケットですよ。制服を正しく着こなして参加しましょう。
- 時間厳守！少し早めに（遅くとも**10分前**）到着しておくように心がけましょう。
- 忘れ物をしない。万が一忘れた場合は、高校の先生に申し出ることですよ。
- 自転車で行くことは禁止**ですよ。公共の機関を利用するなどを考える。高校に迷惑をかけます。
- 必ず「**体験入学報告書**」を記入し、後日、担任の先生へ提出しましょう。
- 事前に津幡南中での高校ごとの打ち合わせが行われます。必ず出席し最終確認をしましょう。
- 寄り道をせずに、自宅に帰るまでは緊張感を失わないよう行動しましょう。

③ 急な欠席の場合・・・

- 当日、体調が悪くなって欠席する場合は、高校の受付開始時刻に**高校と津幡南中学校**へ連絡しましょう。



夏休みには「苦手克服」と「実践力」をつけよう！

今年の夏休みは、7月20日（土）から9月1日（日）までの44日間です。どんなふうに過ごそうと考えていますか。受験生であることを意識して、具体的に、何をいつまでにするかなど、しっかりとした計画を立てましょう。その中には3年の習ったところまで、苦手教科や分野の克服をどうするか入れてください。じっくりと取り組めるチャンスです。1、2年の範囲では、基本的な力から応用力、実践力までいかにつけるか考えましょう。本日、渡した夏休みの過ごし方の例や各教科の学習の仕方の例を参考にしてみましょう。塾に通うもよし、図書館を利用するもよしです。必ず考えてみてください。

さて、色ナビや教科書、ワークなどは基礎力や多少の応用力までつけることができます。実践力については、入試問題集を買きましょう。すでに持っている人はその限りではありません。9月30日まで入試問題集の販売をします。購入を希望したい場合は、購入したい入試問題集の封筒にお金を入れ、担任の先生に提出してください。後日、入試問題集を渡します。



～よりよい学習空間 7か条～

第1条 勉強は自分のため（自ら学ぶ力）

勉強は自分でするものであり、先生からただ教えられるものではなく、自分で興味を持ち、なぜそのような答えになるのかを調べて、理解することが大切です。



第2条 自学学習（主体的に学ぶ力）

勉強を先生から教えられると、それを噛み砕いて、自分の言葉で理解しなければ意味がなく、すべてを教えてもらおうとすれば大事なところを聞き逃してしまう可能性があります。だから、自分で調べた結果、どうしてもわからないところだけを先生に聞くようにすれば、より積極的に勉強にむかうことになり、非常に効率的です。

第3条 成績アップは勉強の質と量で決まる

成績の向上は質と量で決まりますが、質とは自分の要領のことです。つまり、自分が何を、どのように、どのくらいのペースで勉強すればよいのかを明確にしていくことです。さらに勉強を、楽しくできることも大切です。常に勉強が楽しくなるような空間を作ることや、今後毎月行われるテストで達成感を味わうことです。



第4条 学習とは作業ではなく理解

毎月問題が異なるテストを繰り返し行うことで、ただ、問題と答えを覚えるだけでなく、なぜこのような答えになるのかを理解をしながら勉強する。



第5条 理解したものをしっかり暗記

学校や塾で勉強しても、しっかり暗記して定着させなければ、せっかく勉強したことも忘れてしまっ て意味がないです。だから勉強したことを毎月のテストで完璧に暗記させることが大切です。

第6条 暗記をしっかりと定着させる

1回学習し理解暗記しても、それをテストまで覚えていることはまず不可能です。そのため、予習、授業、宿題で繰り返し**3回以上学習**することによって確実に定着させることができます。

第7条 学習管理の徹底

誰でも楽なほうに流されやすく、幼い子供ならなおさらなことです。しかし計画を立てたり、チェックや反省することで、次第に**自主的に勉強**ができるようになります。

